（令６）

国語採点基準

（総点100点）

〔注意〕
1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正答	配点
1		
1	(1) そうかん　(2) しゃそう　(3) たつ／裁つ　(4) うながす／促す　(5) ほかく／捕獲	2点×5
2	(1) テ／照れる　(2) ジュン／ジョ／順序　(3) カギ／限る　(4) ハ／ソン／破損　(5) エン／カク／沿革	2点×5
2		
1	（イ）	3
2	（ア）	3
3	（例）主石がほかの石を求めていると解している関係があり、それを作庭者が理解している関係。	6
4	（ウ）	4
5 (I)	X（答）実用的な機能	2
5 (I)	Y（答）水そのものの美	2
5 (II)	（イ）	2
		22

3

1	2	3	4	5
（ウ）	（ア）	（例）不要なものを抱えた凛に、咲き終わり枯れた花を身に付けた花が重なったから。	（例）自分の言葉で凛を傷付けるかもしれないと不安だったが、いつも通りの明朗快活な凛の姿に安心し、重く考える必要はないと緊張が和らいだ。	（エ）
3	4	5	6	4

22

4

1	2	3	4	
（ならい）	（イ）	（答）人にまさらむ勝たむの心	（Ⅰ）（例）確実な根拠をとらえ、論旨を一貫させる	（Ⅱ）（ウ）
2	2	3	4	3

14

5

1	(1)	(2)	(3)	(4)
	（ア）	（ウ）	（エ）	（イ）
	2	2	2	2

10

2	（評価の観点） 1 形式　目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。 2 内容　立場や理由を明確にして、自分の意見をわかりやすく筋道立てて述べているか。 3 表現・表記　文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。 ※これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。
12	